

(別添)

平成23年度循環型社会形成推進研究発表会プログラム

※講演者・発表者・演題・時間等に変更になることがあります。

【大阪会場】テーマ：廃棄物管理・評価システムの開発

時間	内容
10:00	受付開始
10:30~11:30	特別講演 「環境モデルの構築と評価、実証」 市川 陽一 (龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科 教授)
11:30~12:00	「有害物質管理・災害防止・資源回収の観点からの金属スクラップの発生・輸出状況の把握と適正管理方策」 寺園 淳 (独立行政法人国立環境研究所)
12:00~12:30	「有機再生廃棄物を対象とする多層複合型資源循環圏の設計と評価システムの構築」 藤田 壮 (独立行政法人国立環境研究所)
12:30~13:30	休憩 (60分)
13:30~14:00	「不純物評価・制御技術とユビキタス電子マニフェストシステムを融合した、廃石膏ボード・建設汚泥の安心・安全リサイクルシステムの構築」 袋布 昌幹 (富山高等専門学校)
14:00~14:30	「焼酎粕・デンプン粕の機能性食品化を起点とする経済・物質同時循環システムの構築」 山内 正仁 (鹿児島工業高等専門学校)
14:30~15:00	「単位プロセスの多機能化による含塩性有機性固形廃棄物の低コスト・低環境負荷処理プロセスの確立」 戸田 龍樹 (創価大学)
15:00~15:15	休憩 (15分)
15:15~15:45	「循環型社会ビジョン実現に向けた技術システムの評価モデル構築と資源効率・環境効率の予測評価」 大迫 政浩 (独立行政法人国立環境研究所)
15:45~16:15	「3Rに関する環境教育プログラムの実証と社会行動モデルの開発」 浅利 美鈴 (京都大学)
16:15~16:45	「廃棄物処理・リサイクルの個別施設・技術における安全対応システムの開発・実証に関する研究」 永田 勝也 (早稲田大学大学院) 発表者：切川 卓也 (早稲田大学大学院)
16:45~17:15	「廃石膏ボードの再利用技術システムの構築に関する研究」 井上 雄三 (独立行政法人国立環境研究所)
17:15	閉会

【東京会場】テーマ：廃棄物資源化技術の最前線

時 間	内 容
10:00	受付開始
10:30～11:30	特別講演 「世界の廃棄物処理」 田中 勝（鳥取環境大学 教授）
11:30～12:00	「ハロモナス菌を用いたBDF廃グリセロール利活用によるバイオプラスチックPHA生産」 河田 悦和（独立行政法人産業技術総合研究所）
12:00～12:30	「新規固体酸触媒を用いた草木質バイオマス廃棄物である稲わらの直接糖化法の開発」 銭 衛華（東京農工大学大学院）
12:30～13:30	休憩（60分）
13:30～14:00	「木質系バイオエタノールのための環境低負荷型生産技術の開発」 森田 昌敏（愛媛大学）
14:00～14:30	「木質系バイオエタノール製造のためのコンバージミル連続粉碎技術開発」 二階堂 満（一関工業高等専門学校）
14:30～15:00	「投入設備一体型溶融炉によるアスベストの高効率無害化処理システムに関する技術開発」 内田 季延（飛鳥建設株式会社）
15:00～15:15	休憩（15分）
15:15～15:45	「接触分解法を用いた廃食油からの軽油製造技術の開発」 佐藤 和宏（株式会社タクマ）
15:45～16:15	「木質ボード廃材及び容器リサイクル樹脂を用いた機能化コンパウンドのFRP廃材を利用した改質」 伊藤 弘和（ヤマハリビングテック株式会社）
16:15～16:45	「水熱ガス化プロセスによる工場廃水の処理・燃料ガス製造技術の開発」 松本 信行（大阪ガス株式会社）
16:45～17:15	「バイオディーゼル副産物からバイオプラスチック原料製造装置の開発」 岸田 央範（日立造船株式会社）
17:15	閉会

【福岡会場】テーマ：リサイクル技術研究の先端

時 間	内 容
10:00	受付開始
10:30~11:30	特別講演 「水銀の回収と利用について」 金 晃太郎（野村興産株式会社 顧問）
11:30~12:00	「各種廃棄物焼却灰を主原料とした環境低負荷型混合セメントの開発」 前野 祐二（鹿児島工業高等専門学校）
12:00~12:30	「アジア諸国等への日本の3R体験の移転促進に関する研究」 八木 美雄（財団法人廃棄物研究財団）
12:30~13:30	休憩（60分）
13:30~14:00	「リデュース・リユースの分析・評価手法の体系化とその適用研究」 山川 肇（京都府立大学大学院）
14:00~14:30	「固体高分子形燃料電池の廃棄およびリサイクルに関する基礎研究」 城石 英伸（東京工業高等専門学校）
14:30~15:00	「防腐剤(CCA)処理木材の自動判別方法および有効利用に関する研究」 高橋 徹（地方独立行政法人北海道立総合研究機構）
15:00~15:15	休憩（15分）
15:15~15:45	「ミカン搾汁残渣を有効利用したリンの回収方法」 原田 浩幸（県立広島大学）
15:45~16:15	「有機性廃棄物の嫌気性消化による再資源化技術の反応機構解析」 日高 平（京都大学大学院）
16:15	閉会

【仙台会場】 テーマ：廃棄物に係る多様な課題に対する技術開発
 —災害廃棄物・アスベスト・国際資源循環ほか—

時 間	内 容
10:00	受付開始
10:30～11:30	特別講演 「廃棄物適正処理研究・技術開発の課題」 藤田 正憲（大阪大学 名誉教授）
11:30～12:00	「循環型社会における回収水銀の長期安全管理に関する研究」 高岡 昌輝（京都大学大学院）
12:00～12:30	「可視光応答型光触媒の廃棄物埋立処分場浸出水浄化技術への応用」 森 達摩（大阪府環境農林水産総合研究所）
12:30～13:30	休憩（60分）
13:30～14:00	「赤外線を用いた安全なアスベスト廃棄物熔融処理に関する研究」 池田 伸一（独立行政法人産業技術総合研究所）
14:00～14:30	「埋立地メタンを利用した温室効果ガス変換型の浸出水処理システムの開発」 伊藤 司（群馬大学大学院）
14:30～15:00	「訪問看護における在宅医療廃棄物の適正処理」 池田 行宏（近畿大学医学部附属病院）
15:00～15:15	休憩（15分）
15:15～15:45	「災害廃棄物フローを考慮した大規模水害時における水害廃棄物処理計画策定手法の開発」 平山 修久（京都大学大学院）
15:45～16:15	「適正な国際資源循環を目指した製品中の有用物質および有害物質の管理のあり方に関する研究」 森 秀行（財団法人地球環境戦略研究機関）
16:15	閉会